

資料で見る九州北部豪雨

多くの被害をもたらした九州北部豪雨。熊本地方気象台の資料をもとに、改めてその経緯を検証します。

アメダス降水量時系列表（7月12日）

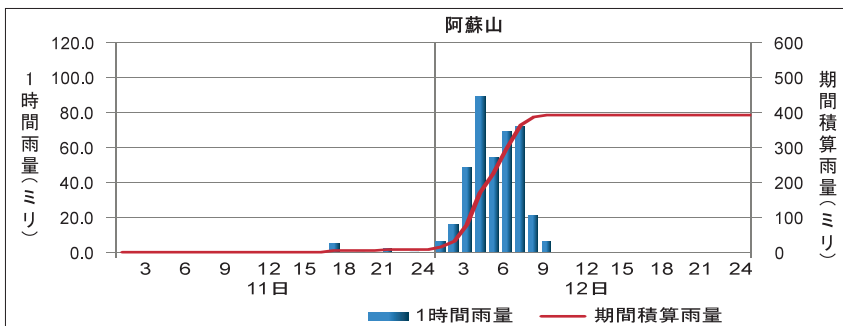
（単位：mm）

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～24	合計
阿蘇山（南阿蘇村）	6.5	16.0	49.0	89.0	54.5	69.0	72.0	21.0	6.5	0.0	383.5
阿蘇乙姫（阿蘇市）	15.5	51.0	106.0	87.0	95.5	96.0	24.0	16.5	1.0	0.5	493.0
高森（高森町）	1.0	3.0	14.5	41.5	7.0	26.5	50.5	29.0	28.5	2.5	204.0
熊本（中央区）	19.0	17.0	24.5	14.5	26.5	30.5	31.0	17.0	0.0	3.0	183.0

30.0～49.5mm（山崩れや崖崩れが起きやすくなる）

50.0mm～（都市部では地下街等に雨水が流れ込むことがある。土石流が起こりやすくなる）

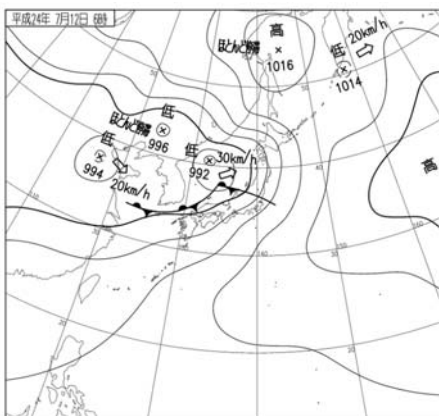
アメダス降水量の時系列（7月11日～12日）



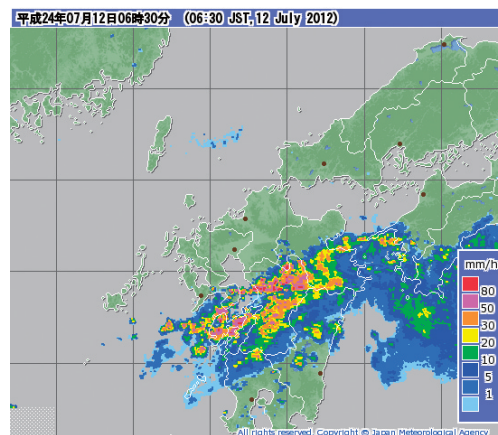
観測史上最大の雨量を更新
（1時間降水量）

- ・午前5時53分までの1時間
阿蘇乙姫で108.0ミリ（統計開始：
1978年）
- ・午前6時39分までの1時間
阿蘇山で94.5ミリ（統計開始：
1952年）

天気図（12日 午前6時）



気象レーダ画像（12日 午前6時30分）



本村における被害の状況（7月末現在）

○人的被害（単位：人） ○住宅等の被害

（単位：棟）

地区	立野	新所	計
死者		2	2
重傷者	1	1	2
軽傷者	1		1
計	2	3	5

地区	両併二	白川	一関一	中松二	第三駐在	下田	栃木	黒川	立野	新所	赤瀬	合計
住家被害	全壊								3	6		9
	半壊									1		1
	一部損壊									2		2
	床上浸水		1	2	1					1		5
	床下浸水	1	1	1				1	2	5	1	12
非住宅	その他											
	1				1	1			1	6		10
合計	2	2	3	1	1	1	1	2	4	21	1	39

私たちの住む南阿蘇村は火山地帯であり、今回の豪雨だけでなく地震その他の災害に日ごろから備えなければなりません。